

TV 会議システムによる国際交流 International Exchange through Video Conference

柳橋 修

Yanagihashi, Osamu

Abstract

Incidentally I came across this video conference device. In the beginning, it was only because I was in charge of it that I used the device. However, since using it, I've come to realize how fun it is to have the opportunity for exchange with those of other countries through this system. Seeing the faces of students participating in activities of international exchange, I'm assured that this system has more possibility than I first expected. I would like to share with others what I've been involved in so far, so that more implicit possibilities may be developed. I'm grateful if my writing can be shared with those who may develop more with this system in order to see more exciting faces of learners.

1. はじめに

この機器による国際交流は、平成 20 年度の「教育振興ビジョン」で「TV 会議システム」が認められ、その年度末に機器が導入されたことにより始まる。平成 15 年度に本校の修学旅行先が韓国となり、金沢と姉妹都市である全州の全州女子高等学校が交流校に決まった。交流が始まって 2 年後、相手校職員が本校を訪問する機会が訪れ、その際に修学旅行以外でも国際交流を行う旨の締結を取り交わすことになった。そのような状況の中、平常時の交流を行う手段として、振興ビジョンで認可されたのがこの TV 会議システムだった。導入に際し機器の担当者が聞いた話によると、たとえ相手校がこのシステム機器を持っていなくても、どちらか一方が持っている相手校はソフトウェアをダウンロードして交流ができるとのことだった。最初はただひたすら全州女子高校とアクセスすることに懸命だった。数ヶ月間、何回かに渡って交信を試み、途中、相手校に配線等の改善工事までしてもらったが結局繋がらなかった。やはり機器がないと交信はできないことが確認され、全州女子高校との TV 会議は断念せざるを得なかった。

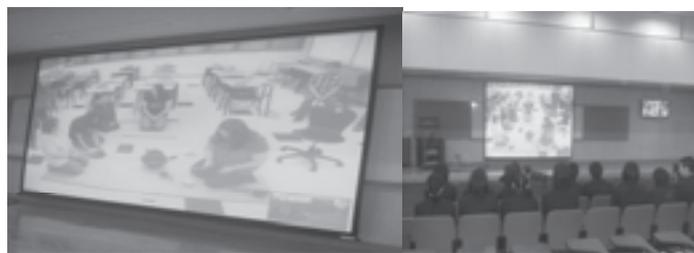
しかし、折角の高価で可能性を広げてくれる機器を使わない手はなかった。他に交流できる相手があればそこの交流で機器を使用しても良いとの管理職からの許可も得て、早速交流相手探しが始まった。だが、機器納入会社に問い合わせても製造元の Polycom は個人情報を出さないとのことで、模索状態が暫く続いた。そのような時、ALT の一人が、本校が TV 会議をしたがっているということを Polycom の電子掲示板に掲載したところ、数多くの返事が返ってきた。

2. 21年度の取り組み

30校以上の希望校の中から、それぞれの紹介文を丹念に読み、任意で1~2校を選び、e-mailで連絡をとってみた。そのようにして出会ったのが、カナダの Lindsay Thurber Comprehensive High School とアメリカの Balalack Middle School であった。最初の交流を持つにあたり、あらかじめ e-mail でどのような内容にするかを確認したところ、カナダの Lindsay Thurber H.S.の生徒たちは日本の茶道に関心があり、是非日本式のお手前を見せてほしいとのことで、本校の茶道部と ESS との合同で最初の TV 会議に臨むことにした。

会議では互いの自己紹介後、まず、カナダの生徒たちによるお茶の作法が行われた。ジーンズで正座して行う見慣れぬ光景だった。彼女らには茶道の先生がいるわけではなく、インターネットで学習したとのことだった。本校生徒によるお手前披露は、前日からのお茶の先生と顧問の指導のお陰で、カメラの前に準備された赤い毛氈上でうまく披露できた。その後は ESS 部員を中心に自由に高校生同士が互いに関心のある話題でおしゃべりを楽しんだ。時差の関係で交流時間は日本時間の朝 7:30~8:00 の 30 分間と限定されたが、このカナダの Lindsay 高校とは 3 回、アメリカの Balalack 高校とも 3 回の交流を行った。最後にアメリカの生徒たちが作ったアニメーションを見たのが 7 回目の交流のときだった。こうした一連の交流記録を VTR に録画することによって、11 月の教育ウィークに訪れた外部の人たちや校内研修に参加した職員にも紹介する機会が持てた。

21 年度はこの機器を活用することが一番の目的だったため、一応その目的は達成できたものの、内容についてはまだまだ不十分であり、とりわけ時差による発信時間の制約は大きな問題として残った。しかし、リアルタイムで海外の高校生と交流する機会を味わえる醍醐味は、何よりも参加した生徒たちの異文化への興味および外国語学習への意欲につながるものと確信している。



3. 22年度の取り組み

3-1. 時差の制約のない相手校を求めて

「TV 会議システム」という key word で検索をかけて Internet で探したが、見つかるのは大抵、米国かカナダの学校であり、前年度の課題であった時差を解消することはできなかった。次に日本と時差の少ない東南アジアの国々を指定した上で検索し、出てきた学

校や教育関係の部署に相手構わず e-mail を送ってみた。それでもなかなか返事は来なかった。そこで前年度、Polycom 電子掲示板で米国やカナダから交流希望校を探してくれた教育センターの ALT に相談したところ、TV 会議関係の電子掲示板のホームページ“CAPspace”を教えてくれた。その掲示板の検索機能に時差の少ない地域の国名と“high school”という key word を打ち込み、画面に現れた学校や教育関係施設にパートナー探しの e-mail を春休みの 1 週間送り続けた。新学期になっても何も音沙汰はなかったが、ついに 4 月 19 日に最初の連絡が届き、21 日にはその数は何と 14 校にまで増えた。

3-2. TV 会議の partner 探しの e-mail

Mr. _____

I happened to see your name at Polycom twice.

Nice to write to you.

I'm Mr. Osamu Yanagihashi, a teacher working at a public senior high school in Japan. I'm looking for a partner who can have video conference with us.

We have had video conference several times with schools in Canada or USA, but the problem is time difference, we only communicate for about 30 minutes early in the morning. I'd like to make use of the conference system during the day time with a school whose time difference is less. Will you please give me your advice, if you know any good partner school in your country?

Thanks a lot.

3-3. Australia からの最初の返事

----- Original Message -----

From: " _____ "

To: yanagibashi.osamu@ _____

Sent: Monday, April 19, 2010 2:55 PM

Subject: Partner for videoconference

Hello Yanagibashi san!

My name is X and I teach Japanese to Australian school students (year 8 students – similar to Japanese Junior High School 2nd year). I am interested in videoconferencing with a school in Japan!!

I have just moved to a new school today, so my students at my new school will only start learning Japanese from tomorrow, but if possible I would like to organise videoconferencing with your students.

Please let me know if you are interested in organising together.

Kind regards,

sender's name, name of the school, phone/fax no. (個人名は伏せ、X とした)

3-4. 返事が来てからの対応

返事があった 14 校はすべてオーストラリアのシドニーからだった。後で相手校の担当者に聞いたところによると、**South West Wales** の教育委員会関係者からシドニーの学校にメールが届いたとのことだった。一度に 14 校と交流するのは無理だとしても、ようやく見つけた相手校だったので時間をかけて丁寧に連絡を取り、こちらが考えている内容の詳細を知らせた。そしてすべての学校に返信を出し終えたあと、次に何校かからの 2 通目のメールを読むうち、こちらの意味する TV 会議システムと相手校の考えている TV 会議に齟齬があることに気づいた。すなわち、相手側は必ずしも専用の機器を使っての交流を意味しておらず、個人でもできる Skype レベルの交流をも含んでいたことや、返事をくれた学校の中には専用の機器がない学校もあるということが分かり始めた。そこで次の返事には TV 会議専用の機器がある学校ということをしっかり明記したところ、14 校が数校にまで絞られてきた。

3-5. Penrith High School との TV 会議

このように何回かのメール交換によって、互いに都合のよい日を決め、IP address を交換し、ようやく 5 月 19 日に最初のテストアクセスが持てるようになった。丁度 21H の授業直前の時間帯であったが短時間の確認だけということもあり、あえてその時間帯にぶつけて見た。担当の N 教諭と簡単な打ち合わせを終えた頃、21H の生徒たちがやってきた。相手側には生徒はいなかったが、本校の生徒数人にカメラの前に立たせて英語で自己紹介をさせることにした。

生徒同士の最初の TV 会議を 6 月 17 日に実施した。高等学校総合文化祭と修学旅行の直前で事前準備をさせる時間が取れなかったものの、スクリーンに相手校の生徒たちが現れたときの感動は筆舌に尽くし難いものであった。こうした感動は是非とも多くの生徒に味わってほしいものだ。

内容は以下のような簡単なものだったが、何はともあれ初めての交流を持つことができた：1. school events、2. entrance exams、3. How to spend weekends。生徒たちが選んだこれら 3 つの話題をそれぞれ 2 人 1 組で用意した簡単な説明をカメラの前で読み上げるという、コミュニケーションとは程遠い内容ではあったが、リアルタイムでオーストラリアの同世代の若者に聞いてもらえたことが何よりも有意義であり、喜びであった。

3 回目の交流は 11 月 8 日に実現した。前もって相手校から送られてあった質問に対して、23H の生徒たちはあらかじめ答を準備することができた。というのも、一つの項目について 2 人 1 組になって準備するよう指示しておいたからである。手順としては最初に相手校の質問にこちらの生徒が順番に答え、その後、向こうの生徒が 1 人ずつ簡単な日本語で自己紹介するというものであった。(文中で使用している「21H」というのは、2 学年の 1H を表す。)

3-5-1. 23H 生徒への質問

| |
|---|
| Q1 Where is Kanazawa and Hakusan in Japan? |
| Q2 What are the main industries in Kanazawa and Hakusan area? |
| Q3 We are going to Hakusan City in April next year. What is the weather like in Hakusan and Kanazawa area in April? What sort of clothing we should take? |
| Q4 As a tourist, what can we see and do in the Kanazawa and Hakusan area? |
| Q5 When we go to Hakusan, we are going to stay with Japanese families. Could you tell what should we do or shouldn't do in a Japanese house? |
| Q6 I heard that a Japanese bathroom is different to our bathroom. How do we have a bath in Japan? |
| Q7 When we have meals at our host families' house, what should we do? What can you tell us about Japanese table etiquette? |
| Q8 Please tell us about your school. |
| Q9 What sort of image do you have of Australia? |

3-5-2. 23H の生徒によるアンケート

| 質問 | 回答 | (人) | % |
|---------------|----------------|--------|----|
| 印象 (31人) | 楽しかった | 19 | 61 |
| | 他、肯定的印象 | 9 | 29 |
| | 通じているのか? | 1 | 3 |
| | あまりスムーズではなかった | 2 | 6 |
| 45分は長い (31人) | 良い | 17 | 55 |
| | 短い | 13 | 42 |
| | 長い | 1 | 3 |
| 相手校の発表 (30人) | 日本語が上手い | 12 | 40 |
| | 友好的 | 3 | 10 |
| | 他肯定的意見 | 12 | 40 |
| | 否定的意見 | 3 | 10 |
| こちらの発表 (28人) | 良い | 7 | 25 |
| | 代表の発表でよい | 9 | 32 |
| | あまり上手く説明できなかった | 1 | 4 |
| | こちらの準備不足 | 1 | 4 |
| | 通じていたか? | 1 | 4 |
| | 日本のことを知って楽しいか? | 1 | 4 |
| | 他の話題のほうがよかった | 1 | 4 |
| | 聞き取りが難しい | 1 | 4 |
| | 40人全部は話せない | 1 | 4 |
| | 相手の自己紹介 (30人) | 日本語が流暢 | 18 |
| 他、肯定的意見 | | 12 | 40 |
| 希望の話題等 (16人) | もっと他の国ともしたい | 5 | 31 |
| | 他の話題や催しで | 6 | 38 |
| 頻度 (30人) | 月1回 | 13 | 43 |
| | 週に1回 | 7 | 23 |
| | 年に1~3回位 | 5 | 17 |
| 話してみたいか (21人) | 話したい | 5 | 24 |
| | 話したくない | 11 | 52 |

(31名の学級であるが、回答者数がそれに満たない項目は回答がなかったものである)

3-6. Leumeah High School との交流

3-6-1. e-mail による交流 (28H・26H 英語 [w])

少しでも授業の内容と重ね合わせることができればと思い、既習の表現をいくつか取り入れることを条件として 28H の生徒に自己紹介文を書かせた。情報室のワープロを使って、生徒自身が PC に直接打ち込んだ。それを集めてひとつのフォルダに入れ e-mail に添付して送った。前もって自己紹介文を書く際の key words だけは入力日までの課題として準備させた。打ち込んでいる時はアドバイスをしたが、意味が伝わるかどうかだけを念頭に置き最小限度に留めた。また多少誤りがあってもこれも文化理解の材料と割り切った。

約一ヵ月後に e-mail に添付されて返事が届いたので、それらを印刷してクラスで配布した。次に 2 通目のメールを募集したところ、3 通しか提出されなかったのも、しばらく待っているうちに定期試験があったり、直接 TV 会議を持てることになったりして、送付の機会を逃してしまった。その間、26H の生徒には既習の表現を取り入れるかたちで、A4 用紙一枚に自己紹介文を自由に書かせ、それらをスキャナーで読み取り e-mail に添付して送った。ただ、相手校の学校行事等の関係で返事をもらうことはできなかったが、むしろ生徒たちの絵や手書きの文字などから各人の個性が反映されていて良かったように思われる。

3-6-2. 日本からオーストラリアへ出した手紙の一例

Dear () at Leumeah High school
()H no.() name()

Hello!! I'm X and 16 years old. My hobby is playing the piano. I like Koala. I want to visit Australia and see a real Koala. My favorite idol is ARASHI. Do you know them? They are very popular with Japan.

Do you know "Hayabusa"? Hayabusa is a Japanese space probe. It landed on the Umere desert in your country. Could you see Hayabusa's light like a shooting star? I wish I could have seen Hayabusa's light. By the way, can you eat dove's brain? I heard Australian can eat dove's brain. Is it real? Japanese people can't eat it.

I belong to the English club. My English club is very fun. Club activities are English drama, speech contest and TV conference with the students of other countries with America and Canada. I'd like to make friends who live in other countries, so I'm looking forward to returning e-mails from you.

3-6-3. Leumeah H.S.の生徒からの返事

Hello (name) I am (name). I am 13 turning 14 year old in October.
Koala's are very cute and piano is fun (:
I have two Turtles, they are also very cute. I have a little Turtle and a big Turtle, I don't know if they are girls or boys. I really love the movie Tokyo Drift, have you ever watched it? Sorry I've never heard of Arashi or I've never heard of Hyabusa, but they sound very interesting!
Dove's brain: No one eats dove's brain in Australia well not that I know of.
I have face book, do you have face book?
English Club sounds good, do you like learning English and is it hard?
Video conference would be good, my class and I are wanting to do video conference with you and your class next term. I can't wait!!
Hope to hear from you soon.

3-6-4. TV 会議による交流

相手校の機器導入が整い、e-mail を出した 28H の生徒同士の交流を 7 月 20 日に計画したが、機器の不調で繋がらなかった。その後、双方の担当者同士でテストアクセスと交流日の調整をしていた折、たまたま本校の文化祭のことが話題に出たので、向こうの担当者は大いに興味を示した。そこで急ぎよ、本校の文化祭の日にあわせて交流を持つことが決まったが、本校の生徒達はそれぞれの催し物で手一杯だったこともあり、果たしてどれだけの生徒が視聴覚室に参加できるのか、またカメラが視聴覚室の外にまで延長できるのか、などの不安は残った。

文化祭の当日、何クラスかの 3 年生に模擬店の料理を持参で視聴覚室まで来てもらい、準備なしの本番ではあったが、来てくれた 3 年生は何とか自分たちの作った模擬店の料理を画面の向こう側にいる生徒たちに説明することができた。なかには「ハシ巻き」のソースを見て、それはチョコレートかとの質問も飛び出した。二日目も是非交流しようということになりそれぞれ 30 分位ではあったが、この二日間にかけて本校の文化祭の雰囲気だけは届けられたと思う。

授業で始めて TV 会議を持てたのは 11 月 1 日であった。e-mail で送った手紙の中に「オーストラリアではコアラをペットにしているのか」という質問があったが、そのことについて彼らは大層驚いたようで、そこから「ペット」を話題にした TV 会議を行うことになった。最初、こちらから 4 組ほどのペアにそれぞれ自宅で飼っているペットについて英語で発表してもらい、次に向こうの生徒数人が同様の発表をした。カンガルーの肉を食用にするとの発表に今度は日本の生徒たちから驚きの声があがった。11 月 12 日には、“our town” を話題にして、26H と 28H との合同で TV 会議を持った。相手校の生徒たち何人が 4 月に白山市にホームステイに来る計画があったため、本当なら白山市を紹介するのが適切かと考えたのだが、発表の都合上、ホームページに沢山の観光用写真がある金沢市を選んだ。ホームページの写真を前もって PC に表示しておき、VC 用のカメラでその画

面を映しながら提示した。この時期は部活動の対外試合で特別な時間割が組まれていた期間でもあり、正規のクラス編成ではない 26H と 28H の 2 クラスに残留している生徒に交流の準備をしてもらった。発表用原稿の手直しはショートホームルーム後の時間ないしは休み時間に指導した。なお、この模様は東海北陸ブロックの教育委員の視察団にも見学してもらうことができた。

3-6-5. 文化祭のポスター

| | |
|--|--|
|  <p>イメージ：実際にはコアラは出てきません</p> | <p>T.V.会議を次の時間に行っています。 自由に、ご参加・見学下さい。</p> <p>期 日 : 8月30日(月) 午後12:30~1:00 場 所 : 視聴覚室(2F) 相手校 : Leumeah High School, Sydney, Australia テーマ : 未設定(この学校とは、先日テストアクセスが終わったばかりです。今回のTV会議は本校の文化祭に合わせて急きょ実施することになりました。30分だけ、参加者が自由にオーストラリアの高校生と交流して下さい。)</p> |
|--|--|

3-6-6. 11月12日の procedure について、相手校の担当者よりの提案(部分)

As for VC topic plan - I have asked my students to prepare some short information about our local town - _____. They will speak briefly in English about the town. At the moment in _____ there is a large festival taking place, called the Fishers Ghost festival. I have asked my students to explain this festival very briefly and simply in English for your students. As for our Japanese conversations, my students can only offer their short self introduction. Each of my students who speaks will introduce themselves in Japanese first.

Would you like to begin with your students explaining about your city? I will ask my students to make some notes about the information your students give and then hopefully my students can think of some questions for your students. Then, my students can take their turn. Do you think this plan is ok?

3-6-7. 11月12日のTV会議の内容

| | |
|---------|------------------|
| 金沢城 | 2名のグループによる発表 |
| 東茶屋街 | 2名と3名の2グループによる発表 |
| 兼六園 | 2名による発表 |
| 21世紀美術館 | 2名による発表 |
| お祭りと行事 | 2名による発表 |
| 工芸品 | 2名による発表 |
| 特産品 | 2名による発表 |

3-6-8. 11月12日の生徒の発表例

-Kanazawa Castle- Kanazawa Castle was built in 1580, but was burned down once and built again. It is a famous sightseeing spot in Kanazawa. And it was appointed to important cultural property. There are a lot of highlights in Kanazawa castle, for example, it is encircled with cherry blossoms, which we can enjoy to see.

-21 Century Museum- We are going to talk about 21st Century Museum. This museum has very interesting structure. The museum is a good example of the architecture in Japan. Look at this picture. It looks like a circle seen from sky. This building itself is art! It is surrounded with many morning glory flowers. They make shade in the museum. Look at another picture. This is not a swimming pool. There is a space which people can enter. This museum has a lot of exhibits. When you come to Japan, let's go there!

3-6-9. 26H（回答生徒数 12 名）のアンケート

| | | |
|------------|--------------------------|------|
| 印象 | 楽しかった | 10 名 |
| | その他 | 2 名 |
| 改善すべき点 | カメラを動かしすぎ | |
| | 生徒同士で会話をしたかった | |
| | もっと興味あるテーマが良い（ゲームやクイズ等の） | |
| | 音声の先に写真 | |
| | 質問時間がもっとほしい | |
| 交流時間 50 分は | 適当 | 5 名 |
| | 短い | 5 名 |
| | 少し長い | 2 名 |
| 内容について | こちらからの発表が多かった | 3 名 |
| | 良い | 3 名 |
| | 内容が少し堅すぎた | 3 名 |
| | 向こうの日本語が上手かった | 2 名 |
| 金沢紹介は | 良い | 3 名 |
| | 向こうの生徒の関心が薄いのでは | 2 名 |
| | 写真が多すぎた | 1 名 |
| | 日本の紹介からのほうがいい | 1 名 |
| 実施希望頻度 | 年に数回 | 4 名 |
| | 2、3ヶ月に一度 | 2 名 |
| | もっとほしい | 3 名 |

3-7. 会議前の準備

TV 会議を行う前には、互いに日程等の調整はもちろんのこと、内容や進め方について綿密な調整を要する。発表する生徒の指導に時間的なゆとりを持って指導できると良い結果を生む。直前には、会場の発表者の座席やカメラの位置を調整する必要がある。カメラを取り囲むように、約 2m くらい離れた所に半円状に生徒の座席を設定するとカメラ操作が

容易になる。その際、発表者順に「カメラプリセット」を前もって取り込んでおくと会議中のカメラ操作がスムーズに行える。発表者が 1 画面に 2~3 人でも十分表情は伝わる。集音用マイクロホンは部屋全体の音を集めるのに対し、スタンド式マイクは発表者用机上に準備しておくとう便利である。カメラの位置は、発表者や会場全体が上手く伝わるように、人の背丈くらいに設定すると立体的な画像が送信できる。機器のコードの長さの関係で、収納ボックスの上に生徒用机を置きその上にカメラを設定して行った。カメラ以外の画像を資料説明として送信することができる装置であるが、そこまで使いこなせておらず、11 月に行った会議では、前もって資料を取り込んだパソコンをカメラ近くに置き、その画面を直接カメラで写して送信した。リモコンやカメラ操作だけでも最低 1 人は必要となるので、事前に打ち合わせた上、進行は ALT に依頼するほうがよりスムーズにできる。

3-8. 22 年度の反省点

22 年度の目標は、授業内での TV 会議システムの活用であったため、導入することはできたものの、問題は内容のさらなる充実を図ることである。一方、e-mail による文通については、リアルタイムではないので時間的な余裕を持ちつつ準備できることや、文字言語による交流であることからより深い内容にまで発展させることが期待できるのだが、その難しさは継続にあることから予想していた通り、今は頓挫した状態に陥っている。今後は e-mail と TV 会議のそれぞれの長所を補完し合うことにより、多面的な交流も可能であると考える。

4. 23 年度の交流

4-1. ESS 部員と Penrith H.S. との TV 会議 (6 月 28 日 [火])

毎年 6 月に開催される英語祭での英語 skit の練習風景を一緒に見てもらえないかと前々から考えていた。高等学校総合文化祭の期間は特別授業で短縮授業となり部活動が午後からすぐに来ることで相手校の授業時間帯とうまく重なって TV 会議を計画しやすい。しかし日程と時間調整が噛み合わず結局のところ実現しなかった。

そこで当日上演した skit の VTR 録画を使って TV 会議を計画してみた。もちろん仕込みの準備は入念に行った。VTR による資料映像を TV 会議システム機器に接続し、いざ開始してはみたものの、2 分ほど経過したところでスクリーンの向こうから「あの一、映像はまだですか？」の声。こちらのスクリーンには出ているが相手校にまで届いていなかったのだ。当然その日の交流は残念ながらその場で取りやめとなった。実は、映像等の容量の大きなものを同時に送ることについて不安があったにもかかわらず、そのためだけのテストアクセスで相手校の担当者まで巻き込むのはどうかと思い、テストは行わずに本番を始めてしまったことが失敗の原因であった。

その後、機器を販売した会社の技術者に来てもらい、VTR 資料提示の接続方法を確認したが、接続方法そのものに特に問題はなかった。しかし TV 会議を行うと同時にデータ量

が大きい資料を流すと、どうしても不具合が出てしまうとのことであった。今のところ相手校を交えての確認作業まではできていない。

ちなみに、この VTR は今年の 1 月に Penrith H.S.、Leumeah H.S. 両校に送った。ESS 部員がオーストラリアの生徒たちから感想を聞ける機会が持てることを願いつつ。



4-2. 32H と Leumeah H.S.との TV 会議 (7 月 19 日 [火])

E-mail での連絡の中で相手校の担当者は、オーストラリアの生徒たちが東日本大震災について度々心配してくれていたため、32H の生徒にはそのことで何か身近なところから話題を見つけて発表できたらよいと伝えたところ、下記のような話題を生徒たちは選んできた。

4-2-1. 発表内容

1. 「(メジャーリーグの) Ichiro」
彼が多額の献金をした記事が新聞に載っていたことを取り上げた。
2. 「幼稚園の子供たち」
東北の幼稚園の子供たちが震災に負けずにこんな活動をしているという内容。
3. 「お寺の取り組み」
住職が賽銭箱に集まった全額を震災に対して寄付するという記事
4. 「高校生が携帯電話を持つことの是非」
上記は前期中間試験に出題された自由英作文の題材である。生徒たちは 5~6 行の英文でその思うところを答案に書いたもので、今回はそれらの中から賛成 2 名、反対 4 名の意見を述べてもらった。

4-2-2. 生徒の発表例

We are going to talk about heartwarming story. Now many groups are collecting contributions. Certain temple of Kanazawa is also collecting contributions. After the earthquake, using "twitter", the chief priest of the temple talked about what they were able to do at once and decided to use an offering box. Two months later, surprisingly, the money collected amounted to 230,000 yen. It seemed to send a stricken area through NGO, non governmental organization.

4-3. 交流案

先に述べた 32H の交流で最も苦勞したのは時間の設定であった。案の定、ほとんどの生徒が受験を控えており、毎時間の授業内容もシラバスによって予定されていたため、3 年

生のクラスしか担当していない筆者が TV 会議を持つことの難しさを改めて痛感することになった。そこで、1、2 年生の授業の「コミュニケーション (英語)」と TV 会議を結びつけるのが最善策であると考え、各学年の担当教員に依頼してみたところ、幸い了解を得られたので、次のような交流案を 9 月末に送り新たな交流予定を探ってみた。

—Plan 1

To present the school festival held at the end of summer vacation. I'm thinking of some students of the student council to make the presentation of it with some pictures, but we are now almost at the end of the former semester, so it can be held only after the new members are chosen, maybe at the end of October.

—Plan 2

To present “Dream School Trip” by first year students. The following are time of classes, when different classes are going to present their ideas. (JAPAN TIME)

November 8th (Tue.) 13:50~14:35

Nov. 17th (Thu.) 9:40~10:30, 15:15~16:05

—Plan3

One 1st year class is free on November 22nd (Tue.) at 14:15~15:05. If you can have VC at the time on the day, they can exchange communication freely, or on some certain topics decided beforehand.

—Plan 4

A 2nd year class are going to make a presentation on their essays about “time travel”.

October 20th (Thu.) 12:55~13:40.

* The time is JAPAN TIME.

4-4. 21H と Leumeah H.S.との TV 会議 (10 月 20 日 [木])

これは 2 年生の担当者の授業「コミュニケーション (英語)」のプレゼンテーションを向こうの生徒にも見てもらうのが狙いである。2 年生が扱う “Time travel” というテーマで、自分の行きたい時代と場所を 50 語程度の英文でまとめてそれを覚え発表するという内容である。

21H のクラスと Leumeah H.S.で TV 会議を行った。2 年の担当者による指導のあと、こちらからは 5~6 人の生徒が発表を行った。その後相手校の生徒たち数人から日本の文化について質問があった。“gender difference” は日本にはあるのか、あるならどのような場面であるのか、という質問が特に印象的であった。日頃、社会科の先生がそういう内容のことを授業で生徒たちに考えさせていたことがこのような微笑ましい交流を生んだのである。今回はこちらでプレゼンテーションの準備ができていたこともあって、内容的に充実したものとなった。以下は TV 会議後の生徒たちの感想を簡潔にまとめ、相手校に送ったものである。

4-5. 16H と Leumeah H.S.との TV 会議 (11 月 28 日 [月])

これは 1 年生の担当者の授業「コミュニケーション (英語)」の発表を TV 会議で流す

予定であった。しかし日程と時間調整に手間取り予定よりも 1~2 週間遅れてしまい、当該クラスの生徒たちのプレゼンテーションが終わった頃に TV 会議の日が設定されることになり、その結果、互いの自己紹介と TV 会議システムを体験した程度で終わってしまったのが残念だった。

しかし 1 年生の担当者が、生徒たちがプレゼンテーション用に作った「旅行用パンフレット」の何点かが模造紙に貼られ、廊下に掲示されていたのを見て、それを写真に撮りメールに添付して相手校に送った。

11 月 28 日の TV 会議についての相手校担当者よりの提案 (e-mail の一部)

Re VC on Monday 28th November from 13:40 - 14:30 Sydney time - this would be a good chance for us to meet. I have my Year 11 class on this day from 13:20 - 14:10 Sydney time, so I think this could be perfect timing! I would like my Yr 11 students to present something to you in Japanese. We have been learning to talk about our daily routines in Japanese. The Japanese is very simple (because they are just beginners this year), but if we could have some of my students talk about their daily routine in Japanese to your students, then perhaps we can discuss differences in lifestyle for students in Japan and Australia in English afterwards? This is a rough plan, but do you think this might work? If you like this idea, then perhaps we can create a VC plan around this. Please let me know what you think.

4-6. 13H と Leumeah H.S.との TV 会議 [12 月 7 日 (水)]

このクラスは 11 月中旬に TV 会議を行う予定であった。授業で準備した “Dream school tour” のプレゼンテーションを TV 会議でも同時に流してオーストラリアの生徒にも楽しんでもらう予定であった。しかし直前になって機器の不具合が見つかり残念ながらプレゼンテーションを味わってもらう機会を逸してしまった。その後、担当者間でテストアクセスを経た後、今回の交流が持てることになった。設定日時の関係で相手校はいつもの担当者ではなく、その同僚で異文化の社会的問題（特にジェンダーによるもの）をテーマに取り組んでいる社会科の先生であった。その担当者からは 21 に及ぶ異文化に関する質問が送られてきた。問題はこちらの生徒が中間試験の直後であり、準備する時間を十分に持たずにその日を迎えたことである。やむなく、ショートホームルームや昼休みの時間を利用して向こうから提示された 20 の質問の中から関心のある項目を 2 人 1 組になって選んでもらいそれに対する回答を家で準備してもらった。あとはそれらを個別添削の要領で直し、練習の余裕すらなく本番の日を迎えた。少しもたつきはしたものの、相手の生徒たちの好意的な姿勢、相手校の先生の質問、そして発表の生徒たちの前向きな表現で、指導や準備時間がほとんどなかった割にはそれなりの内容のある交流会となった。

4-6-1. 相手校の社会科の先生から前もって送られてきた異文化に関する質問

(生徒達は自分の関心のある質問を選んだので全てに答えたわけではない)

1. Describe whether women achieve the same amount as men in Japan?
2. How has Japanese culture changed overtime?
3. Who is the main disciplinary figure in a Japanese family?
4. Are there any important roles in Shinto beliefs, if so, what are they?
5. What computer games are currently popular in Japan?
6. How important is education to Japanese families?
7. Are Japanese families more patriarchal or matriarchal? What are the different roles of males and females in the family?
8. Is Japan very religious?
9. What influence do other global cultures have on Japanese culture?
10. What is your role (as a child) in the Japanese family structure?
11. How important is wealth in Japanese society?
12. Why do Japanese people get up so early in the morning?
13. How highly do you value your traditional heritage?
14. What size is the traditional and modern Japanese family?
15. What impact does technology have on modern day Japan?
16. Describe a significant Japanese tradition.
17. Are there any significant occasions (rituals/rites of passage) that are celebrated by people in Japan?
18. As a country, how has Japan changed in the last twenty years?
19. What does it mean to be free in Japan?
20. Do Japanese people feel intimidated by any other countries?
21. What are the demands placed on teenagers in Japan by mainstream society?

4-6-2. 13H の生徒の印象を key words だけを拾ってお礼状と共にメールで送ったもの。

Dear Ms. X.

Thank you very much for today's VC. Our students have never had such opportunity, so they were so excited even after that. The followings are their brief comments on today's VC. I just picked up the key words from their comments since I'm not so good at typing.

I also appreciate Mr. Y. Please give my / our best wishes to him.

Best regards

Osamu Yanagihashi

- They are cool, friendly.... amazing to hear they can drive a car when 16. I'd like to know more about how they spend after school or what they are doing when they are free.
- I had experienced in the English club last year, but I could enjoy today's VC as we had a good talking.
- I enjoyed talking with them.
- Similar age, enjoyable, I could feel the difference between Australia and Japan through talking. I've come to be interested in Australia through talking with you.
- Today's experience was so fresh to me. I felt the difference of the culture and nature.
- I was worried when the voice could not be heard.
- If the number of the students were less, we could have talked much more easily. I want to have this chance more, regularly.
- Good reactions, enjoyable.
- So friendly and I enjoyed talking today. I'd like to have this chance again. I want to make a trip abroad.
- Topics should be more common to be shared with.
- Aussie are nice. I'd like to talk by myself, without our native speaker.



4-7. 一回の交流を行うのに要する手順

1. 大ざっぱな都合の良い交流日・時間・topic を複数案こちらから提示する。(夏時間や時差等の確認も必要)
2. 同時に、交流予定日の視聴覚室 (TV 会議機器がある部屋) 使用の予約もしておく。
3. 交流日と時間の返事が来たら、その該当クラスの授業を動かさないように教務担当者に依頼する。もし日程や時間の入替等が必要ならその調整を行う。
4. 設定された日と時間に、「ALT」、「機器を操作出来る者」必要ならば「ビデオカメラでの記録の担当」も参加できるように時間割を調整しておく。
5. 発表に向けての練習 (授業時間だけでは不十分なときは昼休みや放課後も利用)
6. 機器の操作をする者と進行係 (ALT) で係の分担を決めておくといよい。

5. 最後に

この TV 会議に関する報告は、単なる通信手段の過程にほかならず、また記載されている内容も至って断片的な思いつきやメモに近いものであって、このフォーラムに掲載されている他のリサーチの類いと異なることは充分承知の上である。しかし従来の外国語教育を振り返れば、ともするとその有効な教授方法にばかりに目がゆき、本来もっと重視すべき学習者のモチベーションに関わることが看過されてきたのではないかと考える。確かに TV 会議は単なるコミュニケーションの一手段であり、使ったからといって語学力がすぐに上達するものではないが、異文化圏の同世代の人々がこの交流を通して直接その思いや感情を伝え合うことができるとなると、案外的外れでもないように思われる。いわば、従来の教科書を中心とした教授法とは別に、話者の表情や所作を交えたコミュニケーションのあり方を通して、人と人の温もりのある触れ合いがいかに大切であるかに気づかせてくれるからである。またこうした交流に生徒たち自身が喜びを見いだせるとしたら、これをきっかけに語学習得に対する意欲もさらに膨らむのではないだろうか。

実は昨年度、勤務校の紀要に TV 会議について書いたが、4 ページ程度の報告だけでは実際のイメージを十分に伝えるには至らなかった。そこで今回のフォーラムのことで知り、実践している内容をイメージし易いように詳述することで、この機器を通して行う交流の面白さと感激をより多くの生徒に味わってもらい、なおかつ少しでも多くの指導者の方々にその意義や活用方法について考えてもらいたいとの願いから投稿を決意した次第である。

昨年度は生徒がパソコン教室を使わず、手書きの紹介文をスキャナーで読みとり送付したこともあったが、それが結果的に交流をより味わい深いものにしたことや、今年も同様

に交流の日程の調整がうまく行かなかったにもかかわらず、掲示されている生徒の「旅行パンフレット」を写メールで送ることで、それが逆に相互理解を深めるきっかけとなったことなど、連絡調整の失敗や不手際は常につきものだが、こうした交流を通じて生徒たちが外国語に興味を持つようになり、さらには異文化理解が進むのだと筆者は考える。

何よりも“forever optimistic”であることが、楽しく継続できる秘訣なのではないだろうか。